令和５年度　大阪府教育庁「スクールエンパワメント推進事業」　研究校
《学校図書館を充実・活用するためのモデル校》

「情報センター・学習センターとしての学校図書館をめざして」

～本校の児童の課題を克服し、学力向上をめざして～

令和５年（2023年）１０月１３日（金）

吹田市立山田第二小学校

吹田市立山田第二小学校

児童数　562名
学級数　25学級（内　支援学級８学級）

・校区は千里丘駅から徒歩圏にあり、校区のほぼ全域が住宅地や公園の学校です。
・校区の中には吹田市立千里丘図書館があり、児童が放課後に気軽に利用できる環境にあります。

令和５年度　山田第二小学校３～６年生対象

学習に関するアンケート結果より（４月実施）

≪高ポイント≫「本を読むことが好きだ」→ ８９．２ ％

令和５年度　全国学力・学習状況調査児童質問紙より

(21)　学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

読書をする割合（　２時間以上　）

- 本　校 → ９１．５ ％（ ９．２ ％）
- 大阪府 → ７０．３ ％（ ７．３ ％）
- 全　国 → ７５．５ ％（ ７．６ ％）

《内訳》

- ３年生→ ８６．０ ％
- ４年生→ ９０．０ ％
- ５年生→ ９１．９ ％
- ６年生→ ８９．７ ％

山田第二小学校調べもの室の特徴

調べもの室

読みもの室

山田第二小学校読みもの室の特徴

低学年向きの絵本があります。

ここは、本来は図書準備室ですが入ってみると、

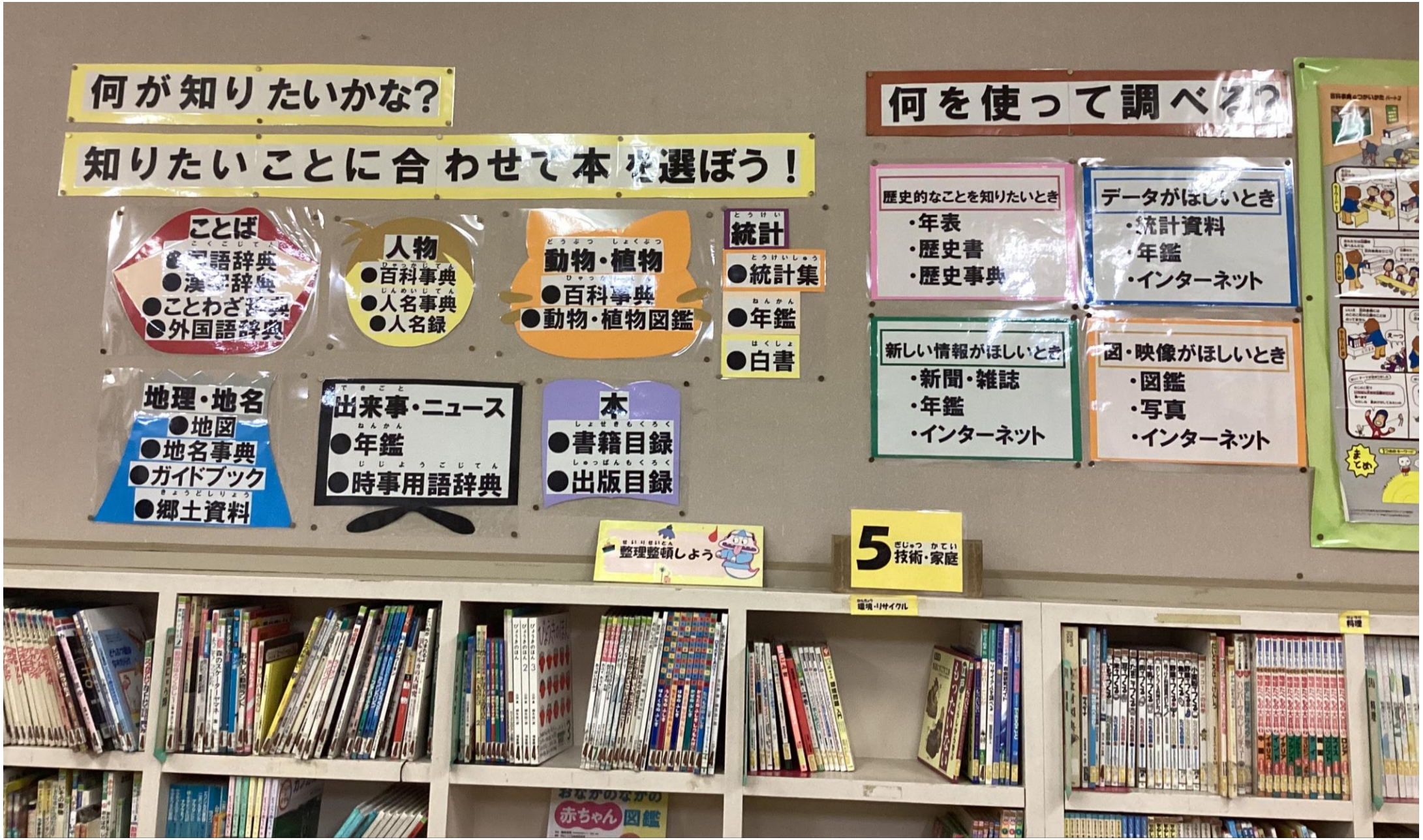
吹田市立小学校のほとんどは、「低学年・高学年」に分けていますが、本校は「読みもの・調べもの」に分けています。

高学年向きの伝記や小説があります。

こんな風に多くの本が配架され、読み聞かせのスペースにもなっています。

小学生新聞も読むことができます。

各月の季節に応じた掲示物があり、目も楽しませてくれます。


何が知りたいかな?
知りたいことに合わせて本を選ぼう!
ことば
●外国語辞典
●ことわざ辞典
●外国語辞典
人物
●百科事典
●人名事典
●人名録
動物・植物
●百科事典
●動物・植物図鑑
統計
●統計集
●年鑑
●白書
地理・地名
●地図
●地名事典
●ガイドブック
●郷土資料
出来事・ニュース
●年鑑
●時事用語辞典
本
●書籍目録
●出版目録
何を使って調べる?
歴史的なことを知りたいとき
・年表
・歴史書
・歴史事典
データがほしいとき
・統計資料
・年鑑
・インターネット
新しい情報がほしいとき
・新聞・雑誌
・年鑑
・インターネット
図・映像がほしいとき
・図鑑
・写真
・インターネット
まとめ
整理整頓しよう
5
技術・家庭
環境・リサイクル
料理
赤ちゃん図鑑

新幹線全駅
&
C特急列車
MAP
どうして起こる？クイズで学ぶ！
自然災害
サバイバル
地震
防災
サバイバル
図鑑
防災
巨大地震の
しくみ
防災の本
世界の自然災害と
取り組み
可能？

今年度さらに読書活動の充実させるための取り組み

読書支援者との連携

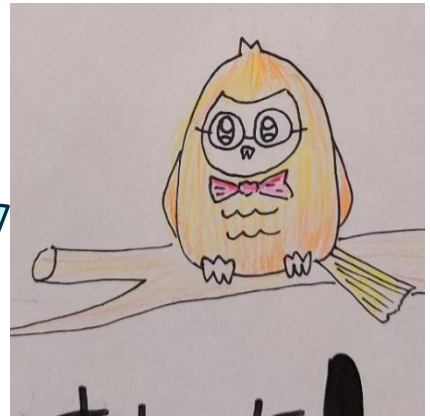
・読書支援者による読み聞かせ
・予約本の取り扱い
・学級文庫の入れ替え
・リサイクル本の募集

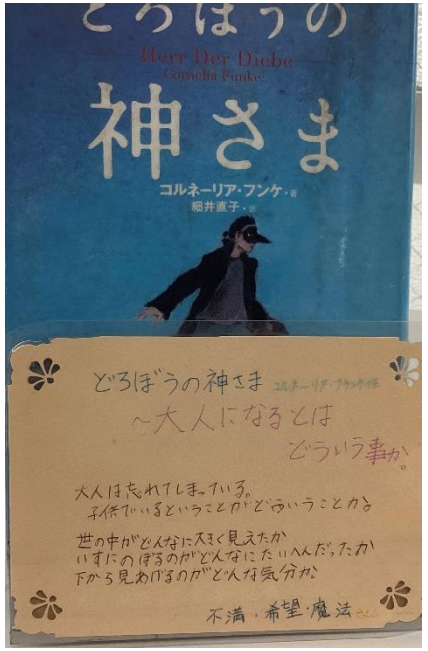
公立図書館や府との連携

・公立図書館の司書による科学の本のブックトーク
・配送便を利用した資料の貸し出し

図書委員会の活動

・学校図書館のイメージキャラクターづくり
・図書室の本のポップ作り
・読書郵便
・好きな本ランキング
・季節の飾りつけ





GTMの活動

・朝の読書活動の時間の学級文庫の紹介
・授業で必要な本の準備、取り寄せ
・図書室の環境整備
・調べもの室だより

調べもの室だより

2023年 10 月10日
第 2 号
山田第二小学校 GTM 野谷

新しい本が入りました！

読書をするのにぴったりの過ごしやすい日が続いています。運動会が近づいて子どもたちは忙しいようですが、それでも本を借りにせっせと読み物室、調べもの室に来てくれています。

先月から行っていた折り紙イベントは1・2年生までのイベントが終わりました。このイベントは調べもの室に気軽に入ってきて、本を利用してほしいという思いで行っています。ボランティアで来てくださっている手塚先生にも手伝っていただきながら、今後は中学年、高学年向けのイベントも開いていく予定です。

低学年向けの折り紙イベントでは、作った後も遊べる風船やカエルを作りました。子どもたちの中にはもっと難しい折り紙や、細かい切り紙などに挑戦したい子もいると思います。少し難しい折り紙の本、切り紙の本もそろっていますので、先生方もぜひ、折り紙・切り紙好きな子どもとの話題作りに作ってみてください。
（夏休みにはすぐに借りられてしまった人気の本です。）

低学年の学習に登場する水族館、動物についてわかりやすく書かれた本です。授業の導入や、授業研究に使ってみてください。遠足前に読んであげると、遠足がさらに楽しみになると思います。

今年度、新しくバリアフリーについての本を購入しました。福祉体験などをされるときに参考になる本だと思います。手話や点字の本もありますので、使ってみてください。

最近、様々な教科で防災に関する学習が増えてきています。図書室でも、様々な災害に関する本を少しずつ購入しています。この本は調べ学習用に作られているので、子どもが使いやすい本だと思います。

こんな本もあります・・・

今年度、新しいジュニア学習年間を購入しています。世界の国々の最新情報、日本の産業に関する統計情報が書いてあります。社会の学習、算数のグラフや表などの学習でも使える本です。その他・・・

- ・世界の人口や紛争
- ・ノーベル賞
- ・世界遺産
- ・スポーツの記録
- ・環境について
- ・日本の歴代総理大臣

ほかにもたくさんの情報が載せられています。

お知らせとお願い

国語で物語文の学習をするときには、ぜひ同じ作者の本を教室においてみてください。たくさんの本に触れる機会を増やすことで、子どもたちの読書の世界が広がります。

子どもに関する法律がわかる本

話題になった本なので、ご存じの先生も多いと思います。6 年生で学ぶ「日本国憲法」だけでなく、なじみの薄い「刑法」「少年法」「民法」、知っておきたい「いじめ防止対策推進法」について、子どもにわかるようにイラストを多用し、かみ砕いて書かれています。面白い本なので、興味があればぜひ読んでみてください。

学習に関するアンケート結果より

≪低ポイント（１）≫

「わからないことや知りたいことがあった時、
本やインターネットなどで調べている」　→　**７７．２**　％

「本やインターネットなどで調べたことをもとに、
自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている」　―　**５４．１**　％

学習に関するアンケート結果より

≪低ポイント（２）≫

「学校の図書室や図書館の本、また資料を使って
調べ学習をすることは楽しい」 → **７４．９** %

「調べたいことがあるとき、
学校の図書室や図書館の本を使うことがある」 → **５３．８** %

★子ども自身の課題

自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている・・・低評価

→**自分の考えをまとめたり、話したりするのが苦手・・・A**

★本校の設備・環境面においての課題

学校の図書室や図書館の本を使うことがある・・・低評価

→**学校図書館の本が充実していない・・・B**

自分の考えをまとめたり、話したりするのが苦手・・・A

授業で資料で根拠を示しながら自分の考えをまとめる機会を増やしたい

子どもたちに授業の中で学校図書館の本に積極的に触れさせたい。

授業内容に対して、子どもたちの興味関心を高めたい。

多くの学習用語を身に付けさせたい。

学校図書館の本が充実していない・・・B

読み物室と同様に、調べもの室を充実させたい。

調べもの室の本を授業で使える新しいものに買い替えたい。

もっと低学年から調べもの室に入らせて、資料を手に取らせたい。

自分の考えをまとめたり、話したりするのが苦手・・・A

学校図書館の本が充実していない・・・B

・**学校図書館の本を授業中に積極的に取り入れ**、多くの**学習用語**を身に付けさせたい。

・調べもの室の本を授業で使える新しいものに買い替え、**調べもの室を充実**させたい。

「なぜ今、学校図書館の本？１人１台端末があるのでは？」

１人１台端末の特徴

＋素早くどこでも最新情報が得られる。

－情報がいろいろありすぎてどれを選択してよいのか、わからない。

－大人向きで書かれているものが多いため、小学生には理解が難しいことがある。

現在、活用中

利点を補い合って使わせたい

学校図書館の特徴

－学校図書館に行く必要がある。

－最新の情報とは限らない。

＋本として出版されている分情報がきちんと吟味されている。

＋小学生が求めている情報がきちんとわかりやすくまとめられている。

昨年度から取り組み中

学校図書館の本を授業で活用させるために

～今年度取り組んできたこと３点～

１．ＧＴＭ(学校図書館を充実・活用するためのモデル校)
加配教員の活用

・各学年各教科の授業において、学校図書館・公立図書館の本が、授業で使えるよう準備し、担任に提示する。

・学校図書館・公立図書館の本を使った授業を各学年で行い、担任に提示する。

学校図書館の本を授業で活用させるために

～今年度取り組んできたこと３点～

２．低学年から学校図書館の資料の活用を進める。

・図鑑を使った授業を行うことで、低学年から情報活用のスキルを養う。

・折り紙イベントなどを行い、調べもの室に気軽に入ってもらい、様々な資料に触れる機会を作る。

学校図書館の本を授業で活用させるために

～今年度取り組んできたこと３点～

３、情報カードの活用

・短い時間のなかでより多くの情報に触れられるよう、情報カードの効率的な使用方法を考える。

・情報カードを活用することで、新しい知識を生かした成果物づくりや話し合いを行うことができることを実感させる。

令和5年度　学校図書館全体計画

令和5年５月
吹田市立山田第二小学校

【学校教育目標】
「心身ともに健康で、豊かな想像力と意欲的な実践力を身につけた児童の育成に努め、人間が人間を大切にする社会を築いていく力を培う。」
【めざす子ども像】
（1）進んでする子　（2）考える子
（3）仲よくする子　（4）元気な子

【研究主題】
「自分の気持ちを持ち表現する力を高める～説明文を通して～」

【学校図書館教育の目標】
○子どもの読書活動を支援し、読書の喜びや楽しさを味わわせることによって、望ましい読書習慣を身に着けるとともに、豊かな人間性を育む。（読書センターとして）
○子どもの学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする。（学習センター）
○学校図書館の活用を通して、必要な情報を収集・選択・活用することができる能力を身に着け、自ら課題を解決しようとする主体的な力を育てる。（学習・情報センターとして）

各学年の指導目標

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
読書指導目標	・自分の好きな読み物（絵本か物語）を探し、読むことができる。 ・物語の中で興味を持ったところを紹介することができる。		・自分の好きな読み物を探し、読むことができる。 ・目的をもって本を選び、読む力を育てる。 ・どのように読んだのか、自分の考えを発表できる。		・いろいろな読み物に興味をもち、集中して読む力を育てる。 ・目的に応じて複数の本を選び、活用することができる。 ・読み取ったり、感じたりしたことを発表できる。	
情報活用能力の育成	・自分の好きな読み物（絵本か物語）を探し、読むことができる。 ・学校図書館やタブレットの利用のルールを知る。 ・いろいろな本があることを知る。 ・目次の使い方や本の見方を知る。 ・図鑑の使い方を知る。			・基本的な情報セキュリティについて知る。 ・国語辞典と百科事典の使い方を知る。 ・資料活用のための見付や引用について知る。	・情報発信するときの責任について知る。 ・漢字辞典の使い方を知る。 ・いろいろな資料にふれる。 ・NDC（日本十進分類法）を知る。	・資料を有効に活用できるようにする。 ・著作権について学ぶ。 ・NDC（日本十進分類法）を知り、活用する。 ・ネット情報のルールとマナーについて知る。

具体的な取り組み

【各教科】
○学校図書館の機能を活用し、課題解決学習や調べもの学習、個別学習やグループ学習の場を設定する。
○各教科の内容とかかわりのある図書資料を読み、目的に応じた読書方法や主体的な読書の態度が身につくようにする。
○各教科のねらいを達成する過程において、資料や情報を効果的に活用する能力を育てる。

【総合的な学習の時間】
○直接体験と間接体験を交互に繰り返しながら、課題解決をしようとする態度を育てる。
○課題の設定、追及、まとめなどの場面で適切な資料や情報の活用ができるようにする。

【道徳】
○いろいろな図書や資料を通して、心の耕しを行い、道徳的実践力の基礎を養う。

【読書活動】
○読書を通して豊かな人間性を育む。
○朝読、図書の時間を通して、読書の習慣化を図る。
○読書チャレンジ、読書郵便、並行読書など、様々な方法で読書意欲を高める。
○読み聞かせやブックトーク、学校図書館の掲示などによる意欲向上を図る。

図書の時間
○図書の時間を通して、学校図書館の利用や情報の適切な活用の仕方が身につくようにする。
○学校図書館の利用の仕方を知り、公共心の高揚を図る。

【家庭・地域との連携】
○図書だよりなどを通じて、読書の推進を図る。
○読み聞かせボランティアや公共図書館との連携、交流を図る。
○放課後図書開放を行い、子どもたちに読書や学習の場を提供する。

令和5年度　学校図書館活用年間計画

山田第二小学校　GTM委員会

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
読書指導目標	・自分の好きな読み物（絵本か物語）を探し、読むことができる。 ・物語の中で興味を持ったところを紹介することができる。		・自分の好きな読み物を探し、読むことができる。 ・目的をもって本を選び、読む力を育てる。 ・どのように読んだのか、自分の考えを発表できる。		・いろいろな読み物に興味をもち、集中して読む力を育てる。 ・目的に応じて複数の本を選び、活用することができる。 ・読み取ったり、感じたりしたことを発表できる。	
情報活用能力の育成	・自分の好きな読み物（絵本か物語）を探し、読むことができる。 ・学校図書館やタブレットの利用のルールを知る。 ・いろいろな本があることを知る。 ・目次の使い方や本の見方を知る。 ・図鑑の使い方を知る。		・基本的な情報セキュリティについて知る。 ・国語辞典と百科事典の使い方を知る。 ・資料活用のための奥付や引用について知る。	・情報発信するときの責任について知る。 ・漢字辞典の使い方を知る。 ・いろいろな資料にふれる。 ・NDC（日本十進分類法）を知る。	・資料を有効に活用できるようにする。 ・著作権について学ぶ。 ・NDC(日本十進分類法）を知り、活用する。 ・ネット情報のルールとマナーについて知る。	

各学年の学習計画（学校図書館活用授業）

	学校図書館行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	・学校図書館環境整備 ・読書ボランティアによる読み聞かせの打ち合わせ	・学校図書館の使い方を知ろう。（国語） ・読み聞かせ（国語）	・学校図書館オリエンテーション（国語）	・学校図書館オリエンテーション（国語） ・モンシロチョウの育ち方（理科）	・学校図書館オリエンテーション（国語） ・「白い帽子」（国語） あまんきみこの作品を読もう	・学校図書館オリエンテーション（国語） ・墨絵（図工） ・図書館を使いこなそう（国語）	・学校図書館オリエンテーション（国語）
5月	・学校図書館環境整備 ・読書ボランティアによる読み聞かせ	・としょかんにいこう（国語）	・図書館たんけん（国語）	・国語辞典の使い方（国語） ・みんなでできる遊びを考えよう（特別活動）	・漢字辞典の使い方（国語） ・みんなでできる遊びを考えよう（特別活動）	・林間学習に向けて（特別活動）	・地域の施設の利用をしろう（国語） ・勾玉づくり（図工） ・話し合い活動（特別活動）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
情報機器活用スキル	・iPadの起動と終了ができる。 ・パスワードを入れることができる。 ・ひらがな入力ができる。（画面上のソフトキーボードを用いた入力） ・ファイルを開く・終了することができる。 ・ウィンドウを移動・最小化・最大化できる。 ・デジタルカメラやiPadで写真を撮ることができる。 ・×ボタンを使ってウィンドウを閉じることができる。	・簡単なキーボード操作ができる。 ・デジタルカメラやiPadで撮った写真をiPadから印刷をすることができる。 ・ミライシードにログインできる。 ・アプリケーションソフトを起動・終了することができる。 ・リンク集からHPを見ることができる。	・ローマ字入力の習熟（タイピング） ・ファイルを開く・保存（新規・上書き）終了することができる。 ・必要な部分の印刷ができる。 ・ミライシードのオクリンクを使うことができる。 ・ミライシードのムーブノートを使うことができる。 ・web検索で必要な情報を収集する。	・ローマ字入力の習熟（タイピング） ・字体・文字の大きさや色を変えることができる。 ・ファイルの操作（コピー・貼り付けなど）ができる。 ・ワープロソフト・プレゼンテーションソフトを使って、文字入力・画像取り込みができる。 ・検索をして、自分なりに情報を整理し、レポートにまとめる。	・ローマ字入力の習熟（タイピング） ・フォルダを作成し、必要な情報を保存することができる。 ・インターネットの概要を理解できる。 ・検索した複数の情報の内容を比較し、必要な内容が何かを判断する。 ・パワーポイントを使って効果的な資料を使うことができる。	・インターネットでの効果的な情報検索ができる。（キーワード・and・or 検索など） ・ミライシードのオクリンクをアドバイスなしでも使いこなすことができる。 ・ミライシードのムーブノートをアドバイスなしでも使いこなすことができる。 ・画像の編集ができる。 ・ICT機器を活用して、プレゼンテーションができる。 ・動画の編集ができる。 ・iPadを使って情報を交流し、グループでの協働編集などを通して学びを深めることができる。
問題解決・探求における情報活用スキルと探求スキル	・図書から情報を集める。 ・大切な言葉や文章をカードや付箋に書きだすことができる。	・図書から情報を集める。 ・メモをとることができる。 ・カードや付箋に書きだした情報を整理することができる。 ・インタビューをして、聞いたことをカードに書くことができる。 ・手紙や電話で情報を集める。 ・簡単な表やグラフを書くことができる。	・図書や辞書を使って情報を集める。 ・インターネットで情報を集める。 ・思考ツールや表について知る。 ・引用の方法を知る。 ・目次や索引を使って必要な情報を取り出すことができる。 ・ローマ字の表記方法を知り、ローマ字入力ができるようになる。 ・インタビューの仕方について詳しく知る。 ・表や棒グラフを読み書きすることができる。	・図書や辞書、百科事典を使って情報を集める。 ・インターネットで情報を集める。 ・要約の方法を知る。 ・アンケート調査ができるようになる。 ・様々なグラフや表をかいたり読んだりすることができる。	・情報を整理するための思考ツールについて知る。 ・日本十進法による本の分類を活用して本を探すことができる。 ・2つの情報の関係を理解して表現することができる。 ・目的に応じて資料から必要な情報を引用することができる。 ・いろいろなグラフや表を読み取り、資料と文章を対応させて書くことができる。	・2つの情報の関係や、分類・比較などとの情報どうしをくふうして伝えることができる。 ・地域の様々な施設を利用して必要な情報を得ることができることを知る。 ・著作権について理解して情報を利用することができる。 ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知る。 ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察することができる。

国語科　情報に関する授業

情報活用能力育成に関わる単元	国語 「としょかんへ　いこう」 （学校図書館に行き、マナーを知る。） 「むかしばなしをよもう」 （図書館で昔話を見つけて読み、好きなところをカードに書く。） 「としょかんと　なかよし」（表紙と題名を手がかりに、読みたい本を見つける。）	国語 「図書館たんけん」 （本の分け方、並べ方を知る。） 「お気に入りの本をしょうかいしよう」 （自分の読書記録を読み直し、好きなお話を紹介する。） 「メモをとるとき」 （メモに書いておくとよいことを考える。） 情「じゅんじょ」 （順序に着目して、理解・表現する。） 情「本でのしらべ方」 （知りたいことが書いてある箇所を中心に読み、メモをする。）	国語 情「分ける・くらべる」 （考えるときに使おうの系列教材　物事を分類してまとめる思考ツールと表を使って比較する方法） 「図書館たんていだん」 （日本十進分類法の「類」と、学校図書館の設備を把握する。） 「国語辞典を使おう」 （国語辞典の使い方を知る。） 情「引用するとき」 （引用の方法を知る。） 情「科学読み物での調べ方」 （目次や索引を使った、必要な情報の調べ方を知る。奥付について知る。） 「はじめて知ったことをしらせよう」 （調べたことを取り出す。目次・索引） 「ローマ字」 （ローマ字での基本的な表記方法を知る。） 「コンピュータのローマ字入力」（ローマ字入力の方法を知る。） 「もっと知りたい、友だちのこと」 （話を聞いて、しつもんする。） 「インタビュー」	国語 情「分ける・くらべる」 （比較や分類をする際の、思考ツールを使った情報の整理の仕方が、具体的な例をもとに示されている。） 「図書館の達人になろう」 （地域の図書館の設備や利用方法を知る。） 「聞き取りメモのくふう」 （大事なことを考えながら聞き、工夫してメモを取る。） 情「考えと例」 （「例を挙げながら考えを伝える」という論述のしかたをおさえ、情報と情報との関係について考える。） 「要約するとき」 （要約の方法を知る。） 「新聞を作ろう」 （事実をわかりやすく伝える。アンケート調査の仕方） 「事実にもとづいて書かれた本を読もう」 （ノンフィクションの本を読み、読書の幅を広げる。読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づかせる。） 情「百科事典での調べ方」 （百科事典での調べ方を知る。）	国語 情「つなげる・広げる」 （マッピングによって、思考をつなげて展開していったり、広げて整理していったりする方法の紹介） 「図書館を使いこなそう」 （日本十進法を活用して本を探す。） 情「原因と結果」 （原因と結果の関係に着目して、理解・表現する。） 情「目的に応じて引用するとき」 （目的を意識して、資料から引用したい箇所を書き留める。） 情「統計資料の読み方」 （統計資料を読むときに注意することや確かめておくことを知る。） 「グラフや表を用いて書こう」 （目的に合った資料を選び、資料と文章を対応させて書く。） 付録 「考えを図で表そう」 「インタビュー」 「通信文のいろいろ」 「インターネットを使って調べよう」	国語 情「ものの考え方、伝え方」 （順序・全体と中心・原因と結果などとの情報どうしの関係や、分類・比較などの情報の整理に関わる伝え方） 情「主張と事例」 （主張と事例の関係に着目して、理解・表現する。） 情「地域の施設を活用しよう」 （さまざまな施設を活用して、必要な本や情報を見つける。） 情「情報と情報をつなげて伝えるとき」 （情報と情報の関係を明確にして伝える。） 情「調べた情報の用い方」 （著作権を尊重し、調べた情報を適切に用いる。） 「私と本」 （読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。） 付録 「考えを図で表そう」 「デジタル機器を使って、プレゼンテーションをしよう」

◎たくさんの本を活用し、語彙力を向上させることで、自分の意見や考えを相手にわかりやすく表現する力を向上させる。

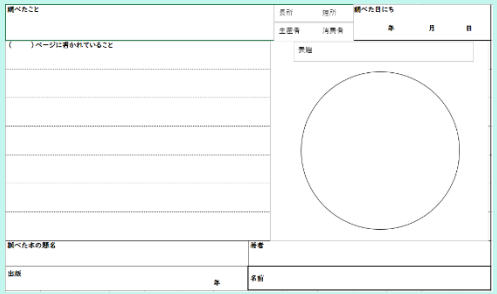
・様々な教科に本を活用してもらい、子どもたちに本で調べる良さを感じてもらう。また、授業を通して本の情報を根拠として意見を言う活動を行う。

情報カード

調べたこと	調べた日にち 年　月　日
(　　)ページに書かれていること	
調べた本の題名	著者
出版　年	名前

情報カードを使うことにより、出典を書くことに慣れさせる。

情報カードに書きだす時間を短縮するために、あらかじめ必要な情報を書き込んだものも使えるようにする。



ミニ情報カード　　年　　組　名前
調べたこと
本の名前
著者（チョシャ）　編者（ヘンシャ）　監修者（カンシュウシャ）
出版社（発行所）
本が出版された年月日

情報カードを使う際の課題

・情報カードを使うことが目的になってしまう。

・情報カードを書くことに時間がかかり、たくさんの資料に触れることが難しい。

・ミニ情報カードに調べたことの要約だけ書かせる。

・本に付箋を貼らせて自分の使いやすい本がすぐにわかるようにしておく。

・時間が短縮され、複数の資料を手に取って情報を得ようとする児童が増えた。

・同じ情報について複数の資料で調べる児童が出てきた。

・短く要約する必要があるので、資料に書かれていることを理解しないまま写すことが減り、言葉の意味が分からないときは意味調べをしてでも情報の内容を正確に知りたいという意欲を見せる児童が増えた。

・国語の辞書、ポプラディアなどを使用する場面が多くなった。

・以前から使っている情報カードにきっちり書き込みたい児童もいるため、情報カードは数種類準備する。

・iPadを使うことで、最新の情報や図書室の辞書では調べられなかった言葉も調べられることに気づくことができた。

3年生～6年生の学習アンケートの結果から

	4月の結果	7月の結果
本を読むことが好きだ。	89.2%	93.9%
家で30分以上、読書することがある。	65.8%	68.0%
わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットで調べている。	77.2%	76.1%
本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている。	54.1%	57.6%
調べたいことがあるとき、学校の図書室や図書館の本を使うことがある。	53.8%	58.8%
学校の図書室や図書館の本、また資料を使って調べ学習をすることは楽しい。	74.9%	77.8%

【今の課題】

・情報カードを使った調べ学習について取り組みを進めているが、利用される機会がまだ少ない。

・子どもたちが自ら資料で調べたいと感じる課題を考える必要がある。

・まだ調べもの室に最低限必要な資料が足りていない。

【今後に向けて】

・調べもの室の本の充実。

・情報カードを使って、複数の情報を得て、その中から自分に必要な情報を選ぶ力を育成する。

・国語の「情報」を中心に、情報活用能力の基礎となる力をつける授業を行う。

・特別活動などでも学校図書館の資料の活用を進める。

・教員にも学校図書館の資料をもっと活用してもらうよう今後も働きかけをしていく。